

町のバランスシート

(平成14年度末現在)
貸借対照表

町民一人当たりの正味資産は約123万円

平成14年度末現在 明和町のバランスシート

(単位：千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	12,887,781	固定負債	2,785,449
総務関係	1,186,064	借入金	1,857,494
民生関係	908,201	退職給与引当金	927,955
衛生関係	132,459		
農林水産業関係	1,470,158	流動負債	296,478
土木関係	5,259,114	翌年度償還予定額	296,478
教育関係	3,925,178	翌年度繰上充用金	0
その他	6,607		
(うち土地)	2,746,116)	負債合計	3,081,927
出資金・貸付金など	2,378,757		
		正味資産	
流動資産	2,171,292	国庫支出金	1,136,804
現金・預金	2,117,398	県支出金	932,034
未収金	53,894	町税等一般財源	12,287,065
		正味資産合計	14,355,903
資産合計	17,437,830	負債・正味資産合計	17,437,830

このバランスシートは、総務省より報告された「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」に基づき、昭和44年度から平成14年度までの「地方財政状況調査（決算統計）」の数値等により作成しました。

これによると、借方の資産合計から貸方の負債合計を差し引いた正味資産は、約143億円で町民一人当たりの正味資産は約123万円となり、全般的に健全な財政状況といえます。

住民一人当たりの
正味資産

143億5,590万3千円

1万1,659人

123万1千円

(H13年度)
123万2千円

注) 総務省が発行した「調査研究会報告書」を基に昭和44年度から平成14年度の決算統計等のデータを用いて作成しました。

バランスシートとは

バランスシート(貸借対照表)は、民間企業が決算発表のとき用いる表で、左側の借方に資産、右側の貸方に負債と資本を記載した一覧表です。

現在の予算・決算書は、官公庁独自の形式で、単年度現金主義で構成されています。従って、1年間の入ってきたお金(歳入)と使ったお金(歳出)の出入り状態を示しているため、年度単位の財政状況は分かりません。一方、過去から累積された財産の状況を分かりやすい表にしたのがバランスシート(貸借対照表)です。

資産とは住民の今後の財産であり、行政サービスの源ともなります。主な資産として、現金・預金・債権・基金などや、公有の財産・公共の持ち物など、さらに、土地・道路・橋・公園などがあげられます。負債とは、住民の今後の負担になるもの。主な負債としては、地方債・未払い金・将来に備えた引当金などがあります。正味資産は、後世代に引き継がれる受益と、後世代が負担する債務の差額で実質的に受け継ぐ価値のことです。

このように、現在までの資産整備の状況や、将来への負担となる債務を表し、今後の財政運営の方向性を把握するのに役立ちます。